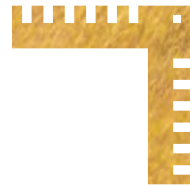
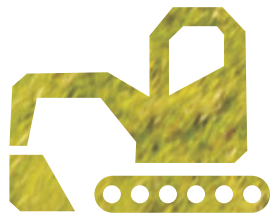




# Sanko Land Planning

Corporate Guide



# 農業が元気なら 北海道も元気だ！

広大な大地と、

恵まれた気候を有する北海道は

日本の食卓を豊かにする一大農業地帯です。

三幸ランドプランニングは、

農業土木分野に特化した

建設コンサルタント。

北海道農業の未来のために、

農業基盤を「技術力」で支えています。

農業が元気になれば、

北海道も元気になる。

使命とやりがいを持って

働いています。



# Work

農業土木コンサルタント業務の発注元は主に官公庁。  
農業を営む際に必要な農地と諸施設をデザインし、  
農業農村整備事業を通して北海道農業の未来に貢献しています。



## 農業土木コンサルタントとは

常農に必要な農地と諸施設を整備するための調査・測量・設計業務を受注する技術コンサルタント。官公庁をクライアントにもつ農業土木のプロフェッショナル集団です。



### 用水路の整備

農作物や家畜が必要とする水を、河川などから農地まで供給するための用水路を整備します。近年では、これまで雨水のみに頼ってきた畑作地に対してもパイプラインを建設して、安定的に水を供給する整備を進めています。



### 排水路の整備

土中に過剰な水が溜まると、作物生育や農業機械運用に悪影響を及ぼし、生産性の低下を招きます。この過剰水を農地から川などへ戻すために排水路を整備します。近年では、管理の省力化を目的とした暗渠化の試みも行っています。



### 農道の整備

生産地である農村と消費地である都市を結ぶ農業用道路の整備は、農畜産物輸送の省力化と効率化を図ると共に、農村に住む人々の移動環境の向上にも繋がります。また、農地どうしを結ぶ農業用道路の整備は、農作業の省力化と効率化に寄与しています。



### ほ場整備

大きくて整形された農地を創出し、若手農業者へのスムーズな事業継承を促します。特に、広大な北海道では、更なる大区画ほ場を整備することにより、生産競争力の強化、来るべきスマートIT農業の実現を目指しています。



### 肥培かんがい

家畜のふん尿を加水発酵させて肥料化し、農地に還元するための施設を整備します。化学肥料の使用が縮減されると共に、ふん尿の直接的な流亡を防止できるため、周辺にある河川湖沼の水質改善にも寄与できるエコな施設です。



### 予防保全

老朽化する農業施設を調査点検し、致命的な劣化となる前に適切な補修や補強を施し、施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図ります。この取り組みは、国や地方自治体の厳しい財政状況を踏まえた新しい整備の方針です。

# Message

北海道農業の発展は、土壌条件との戦いだった――。  
実り豊かな北の大地の背景には、  
先人たちから脈々と受け継がれる基盤整備の歴史がありました。



農業土木とは  
「縁の下の力持ち」。  
広大な大地を相手に  
情熱を注ぎ続けます。

代表取締役社長  
加藤 範幸



**三** 幸測量設計社とランドプランニングは2017年12月に合併し、「三幸ランドプランニング」として新たなスタートを切りました。両社とも創業から約50年間、農業土木コンサルタントとして、北海道各地の農業農村整備に力を注ぎ、これまで多くの実績と経験を積み重ねてきた企業です。

日本の食糧基地として、開拓当初より期待されていた北海道ですが、農業開発は常に土壌条件との戦いでもありました。広大な大地を有する北海道でしたが、その大部分は泥炭地。水分を多く含み、地盤が軟弱なため、大幅な改良が必要でした。

弊社の前身である2社が創業した当時は、まさに北海道農業の発展をかけた事業が展開されていた時代。大規模なかんがい排水事業や、基幹的な用排水施設の整備など農業基盤の整備に主力が注がれていました。

農業基盤の整備に続き注目されたのは、ほ場整備です。小さく不整形なほ場群を再編し、大区画化することは、大型農業機械の導入を可能にしました。加えて、河川や用排水路の改修を含めた土地利用の秩序化を図ることで、労働生産性だけでなく土地生産性も大幅に向上したのです。こうして北海道は、一大農業地帯としての存在感を増していったのです。

平成22年産米で、北海道のお米が初めて「特A」を取得しました。

厳しい自然環境、土壌条件から不毛の大地と言われていた北海道にとつて、歴史的快挙を成し遂げた瞬間でもありました。北海道米が全国でもトップクラスの高評価を得るように至った背景には、試行錯誤を繰り返した品種改良はもちろんのこと、総力を挙げて力を注ぎ続けた農業基盤整備が、実を結んだ結果だと胸を張っています。

農業土木とは、北海道農業の発展における「縁の下の力持ち」。決して目立つものではありませんが、人間が生きていく上で欠かすことのできない「食」を守り、支える大切な仕事です。弊社は農業コンサルタントとして総合的な技術力を生かし、北海道の広大な大地を相手に日々情熱を注ぎ取り組んでいます。

# Interview

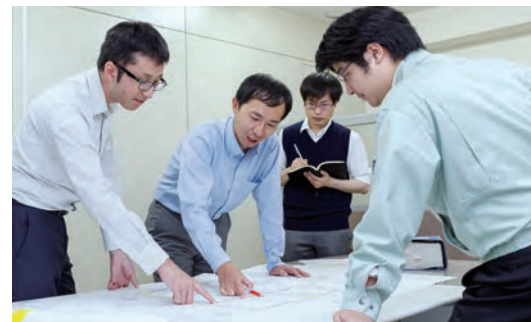
調査・測量・設計業務を請け負う  
農業土木コンサルタントのプロフェッショナルたちの仕事とは。  
奮闘を続ける先輩たちに話を聞きました。



酪農家が生き生きと働く姿で成果を実感。

2004年入社 五十嵐 航 Wataru Igarashi

**入** 社15年目となる五十嵐さんは現在、北海道有数の酪農地帯である別海町で肥培かんがい施設の設計を行っている。  
肥培かんがいは牛などのふん尿を加水発酵させて肥料化させる施設のこと。ドローンを用いて農地状況を把握し、官公庁の担当者や酪農家と打ち合わせを重ねて設計を進めている。  
「肥培かんがい施設は労働時間の縮減や、作業効率の向上、ふん尿処理問題の解決に繋がります。施設の完成を喜び、生き生きと働く酪農家さんの姿を見るたび、自分の仕事の成果を実感します」



農家にとって使いやすい施設の設計を。

2000年入社 繁名 康平 Kouhei Hanna

**ほ** 場の大区画化による農業生産性の向上を図る「ほ場整備」。農地を効率的に再編するためには、区画の改変のみならず、道路や排水水路なども併せて一体的に整備するため、その仕事内容は幅広い。  
設計業務担当の繁名さんは、「農家の方々との綿密な打合せが重要」と話す。一方で、官公庁発注の公共事業であるため、「事業の目的や予算を念頭に置いて発注担当者と十分に協議しながら、両者に納得が得られる整備条件や整備水準を模索していき提案するのが、我々コンサルタント技術者の仕事」と話す。



土木技術への頼もしさを日々実感。

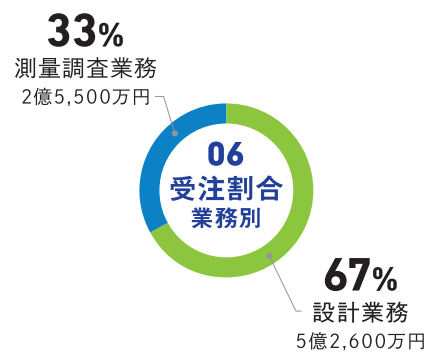
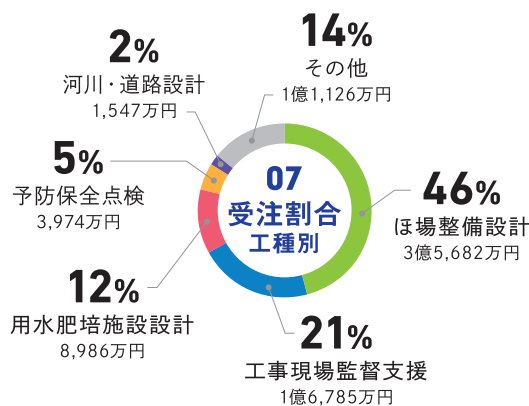
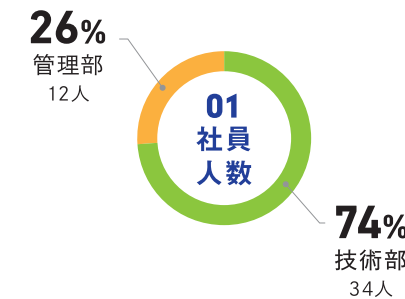
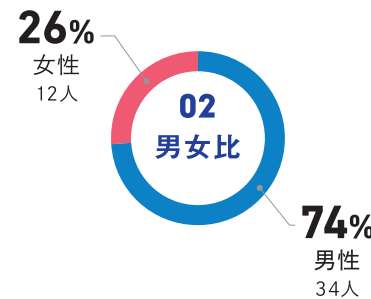
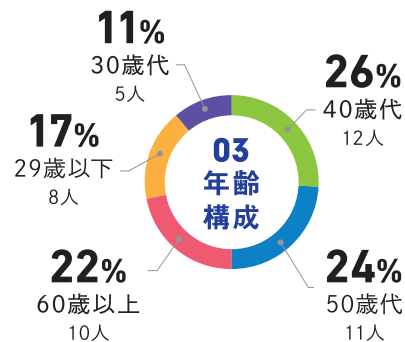
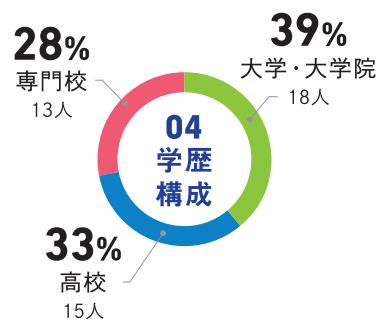
1993年入社 渋谷 治 Osamu Shibuya

**士** 別を拠点に橋梁の点検・診断や河川や道路の設計など、多岐に渡る仕事をこなしている渋谷さん。橋梁点検は予防保全を図るために定期的に実施するもの。目視のほか点検機器や橋梁点検車を使い損傷がないか、耐力や耐久性に問題がないか、入念な確認を行う。「阪神淡路大震災以降、インフラに対する予防保全の考えが浸透しています」と話す。東日本大震災後には耐震基準が見直されるなど、自然災害が起こるたび教訓を得て土木技術は進化を続けている。「点検を通して、土木技術への頼もしさを日々実感しています」

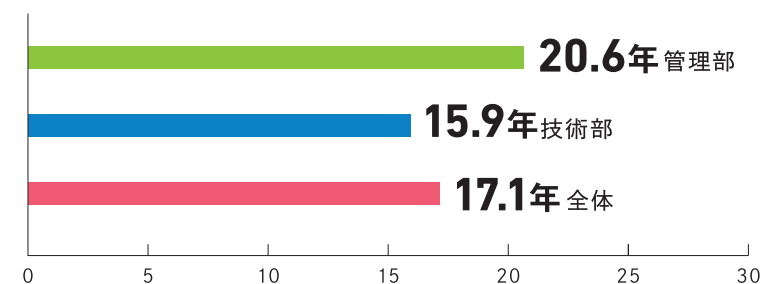


# Data

気になる企業データをグラフで紹介。  
基本的な情報から受注割合まで幅広く集めました。



## 05 平均勤続年数



※社員人数、男女比、平均勤続年数、年齢構成、学歴構成は令和4年度のデータです ※受注割合（業務別）、受注割合（工種別）は令和3年度のデータです。

**有資格者数**  
2022年4月現在

技術士 農業部門：5名 / RCCM 農業土木：7名 / RCCM 道路：1名 / RCCM 河川・砂防：1名 / 農業土木技術管理士：7名  
技術士補資格者：9名 / 一級土木施工管理技士：9名 / 測量士：22名

# Voice

三幸ランドプランニングの生の声を紹介。

## 会社概要

社名：株式会社  
三幸ランドプランニング

創立：1971年3月3日

資本金：37,000千円

代表者：加藤 範幸

登録：測量業登録 第(12)-3769号  
建設コンサルタント  
登録(建30)6383号

加盟団体：一般社団法人  
北海道土地改良設計技術協会  
一般社団法人  
北海道農業土木測量設計協会  
公益社団法人 日本測量協会  
一般社団法人  
北海道測量設計協会  
上川調査設計協会  
各地調査設計協会

自分が蓄積したスキルは自分  
のもの。腕一本の技術屋は、  
一生どこでも通用する、  
心配ない！

H・S 技術部  
社歴36年

日本の食料を支える北海道農業、それを支える我々の仕事、やりがいのあるいい仕事です。

N.K 管理部 社歴41年

聞くは一時の恥  
聞かぬは一生の恥なので、疑問は遠慮せずに聞いてください。

Y.K 管理部 社歴13年

より良い未来を創る仕事。  
やりがいを感じながら働いています。

K.U 技術部 社歴16年

土木技術の進展速度は、他産業のそれと比べて緩やかです。だから、コンサルタント業務で身に着けた技術は、一生の糧になります。

D.K 技術部 社歴8年

農業土木コンサルタントのプロフェッショナルとして働いています。

多くの若手社員が  
活躍し、活気のある  
職場です。

T・H 管理部  
社歴27年

自分の設計したものが  
形になっていく、なかなかいいものです。

S.F 技術部 社歴4年

自分が設計した工事が進み、完成した時の達成感は最高です。なにものにも代えがたいものです。

Y・H 技術部  
社歴3年

北海道の農産物が、より一層美味しく感じられるようになる仕事です！

S'F 技術部 社歴16年

一度きりの人生を楽しもうと常に心がけて仕事にも取り組んでいます。

Y・N 技術部 社歴24年



株式会社  
**三幸ランドプランニング**

**旭川本社**

〒070-0823  
北海道旭川市緑町25丁目  
2143番地41  
TEL 0166-52-2081  
FAX 0166-52-2799  
MAIL soumu-asa@sankoland.jp

**札幌支店**

〒060-0005  
北海道札幌市中央区  
北5条西6丁目  
第2道通ビル6F  
TEL 011-241-6425  
FAX 011-241-6426  
MAIL soumu-sap@sankoland.jp

<http://sankoland.jp/>